

# しゃくなげ



DENSOKU  
No. 487号

発行日 2020年11月16日  
発行 株式会社でんそく

## 品質月間にあたって

代表取締役社長 櫻井 賤男

11月に入って寒さも一段と厳しく、北海道からは雪便りが聞かれる頃となりました。この寒さに合わせて新型コロナウイルス感染症が全国的に広がっています。国内ではコロナ第3波と思える感染者数が急増しています。インフルエンザ予防と併せて社員皆様一人ひとり新しい生活様式(マスク、3密)に従った行動をお願いします。この様なコロナ禍の厳しい環境下で上期を乗り切る事が出来た事に対して客先様、納入業者様、そして社員の皆様方の御協力に対して改めて感謝申し上げます。

今年の全国品質月間テーマは「みんなでつくりよう新たな価値と変化に負けない組織力」となっています。このテーマより、コロナ禍という災害に企業として打ち勝っていくには一人ひとりがプラス思考で力を合わせた組織力が求められていることを学びました。

今期の売上は前年に比べて出遅れていますが、電源開発(株)様、JR様関連の仕事が増えており、大変有難く思っています。お客様のニーズが多様化し、これに対応した新製品・サービスが求められています。特に電力会社様ではDx(デジタルトランスフォーメーション)からみの提案が要求されています。私共、製造部・工事部そしてソフト部門一体となって提案してゆきます。製造部門は品質月間に合わせて物造りの原点である何故なぜを5回繰り返して下さい。これを実行する事によってお客様の要求(原点)が見えて来ます。各職場間、上司と部下、仲間同志のコミュニケーション

が未だ不足しています(相手の話しを聴く)。これを解消してクレーム零をお願い致します。工事部門は安全憲章5ヶ条の4項「予定と違う状況には、まず止まり相談します」を徹底して現場での再発防止をお願いします。

今年は働き方改革法案が4月より中小企業にも適用されています。又コロナ禍によって企業への影響が大きい中で、11/6(金)名古屋投資育成懇話会「オンライン社長会」で佐々木 常夫氏(元株東レ経営研究所社長)の「働き方改革～コロナ以降の働き方はどうなるか?～」の講演を聞く事が出来たので一部紹介します。

良い習慣は才能を超える(昨年11月号で紹介済み)の第2段として、1、業務の見直し…日次、週次での業務の優先順位(朝一何をすべきか、断捨離)。2、1best運動…電話1分、議事録1枚、会議1時間(事務の効率化)。3、仕事の効率化の両輪はコミュニケーションと信頼関係(組織力)4、その人に合せた対応を、人の強みを引き出す(相手を尊重し、リスペクトする)。5、読書の価値は本の数ではない、知識だけではダメで、実践で結果を出す。でんそくにとって必要なものを選びさせていただきました。この中で一つでも多く自分のものにして仕事に生かしていただければと思います。

今年も残り1.5ヶ月です。2020年品質標語に入選された「職場内のコミュニケーションは品質UPの第一歩」を基本にこの繁忙期を乗り切りましょう。

## コントロールセンターの製作

製造部 岡田 豊

今回電源開発(株)様 手取川第一発電所向けのコントロールセンターの製作に携わることができました。水力発電所のコントロールセンターの用途といえば主に補機(圧油ポンプ、空気圧縮機、給水ポンプ、給水ポンプ用ストレーナー、所内排水ポンプ等)の制御に使用します。

製作に携わるにあたって弊社での製作実績があまりないということがありまして、製作にはなかなか苦労がありました。例えば今回の盤のサイズが高さ2300mm、盤幅1面あたり600mm、奥行が500mmの物が5面の列盤になるもので、その限られたスペースの

中に大きな負荷の開閉をするための大型の部品を取り付ける配線の取り回しが難しかったです。

この苦労した事などを水平展開して行くので、次回コントロールセンターの製作をするときに生かしていただければいいかと思えます。



## 組織改正の実施について

取締役 総務部長 高橋 政寿

組織改正につきましては10月15日に取締役会で決議され10月1日から実施しているところでございます。また、従業員の皆様には文書ならびにグループセッションで既に周知をさせて頂いております。今回あらためて組織改正の意義を理解して頂くため社内誌に掲載させていただくこととしました。

今回の組織改正の主な狙いは大きくふたつございます。一つ目は本部制の廃止により組織階層をフラット化し、よりコミュニケーションが図れるようにしました。あわせて迅速な意思決定ができるようにしました。特に職場でのコミュニケーションは大変重要です。同僚同士や上司と部下の

コミュニケーションを良くしお互いを理解し風通しの良い職場づくりが大変重要だと思っています。二つ目はシステム開発課を製造部から分離しシステム開発部としました。菅政権発足後国レベルでデジタル化が進められようとし、また、関西電力(株)様もDx(デジタルトランスフォーメーション)への取り組みを積極的に進められております。

会社としても現状維持では衰退は免れません。経営環境が大きく変わろうとしている中お客様のニーズを把握しスピーディな新製品の開発・提案が必要だと思えます。そしてでんそくの技術力が評価され信頼をもって頂けるとなれば新たな受注につながるものと思えます。従業員の皆様には以上のことを理解して頂き日常業務に反映して頂ければと思います。

## 芸術の秋！ アール・ブリュット

製造部 上田 伸也

昨今のコロナ禍、今秋は芸術に触れてみるのはいかがでしょうか？

最近気になっているものに「アール・ブリュット」と云うものがあります。これは前衛芸術家ジャン・デュビュッフェが提唱した美術の概念で、正規の芸術教育を受けていない人が生み出すアートのことです。日本では知的障がいをもつ作家を中心とした作品がアール・ブリュットの代表作と紹介され注目されたことから「障がい者の作品」のような雰囲気が漂った時もあったそうです。

ですがハンデキャップを持った方の作品もなかなか良くて、県内でも気軽に観られるところがあります。9月に射水市歌の森運動公園にオープンした人魚ロゴのコーヒー店で、障がい者アートを支援する富山県高岡市のアートNPO工房「COPELLE(コペリ)」の作家二人がお店ロゴのサイレン(人魚)を題材に創作された作品が飾られています。

これがお洒落な店内にも負けずに素敵なのでした。私も芸術の秋、何か描いてみます。



題「立山の霊獣 くたべ」  
作画 伯 上田伸也

## 2020年度 社内品質標語

本年度採用された品質標語は下記の通りです。

＜入選＞ 職場内のコミュニケーションは  
品質UPの第一歩  
(製造部 K.N)

＜佳作＞ 新たな視点で工夫は無限  
みんなの知恵で品質向上  
(営業部 Y.M)

ニーズに応える新たな開発  
みんなで活かそう 知恵と組織力  
(総務部 T.M)

## ～編集後記～

ここ数日で朝晩ぐっと冷え込みを感じるのは私だけでしょうか…。ネットニュースで今年は「ラニーニャ現象」が続き、寒い冬になる可能性が高くなるとのこと。「ラニーニャ現象」が発生すると、世界中の天候に影響を及ぼし、日本付近では、冬は気温が低くなる傾向があるとのこと、北陸でも一時的に冷え込みが強まって大雪になる恐れがあるそうです！去年が暖冬だったので油断していました…。そろそろ冬に備えてタイヤ交換の予定も入れていきます。皆さんも暖かくしてお過ごしください！ (Y.M)